

## ■第104回二科展コラボ展示企画 起き上がりこぼしプロジェクト

**趣旨**：起き上がりこぼしプロジェクトとは、3.11の東日本大震災、原発事故支援活動としてファッションデザイナー高田賢三氏らの呼びかけを発端に、七転び八起き「起き上がりこぼし」に絵付けをする、復興と平和を願って始めたムーブメントです。公益社団法人二科会でも、2011年より被災地において絵画教室を行い、その作品を国立新美術館に展示するという、形こそ違いますが8年間、義援活動をして参りました。その事がきっかけとなり、今年はウクライナ・フランス・スペイン・イタリアの4カ国のアーティスト約100名と二科会会員約100名との起き上がりこぼしのコラボレーションをいたします。

★展示作品数：約200点（海外作品約100点・二科会作品約100点）

- ・フランス：高田賢三、アラン・ドロン、ジャン・レノ、ナショナル・デ・ボザール理事等
- ・ウクライナ：セルゲイ・ブブカ、ビタリ・クリチコ等
- ・スペイン：外尾悦郎、マリア・ホセ・スアレス、クリスティーナ・オジョス等
- ・イタリア：チェッコボナノッテ、アルナルド・ポモドーロ、ジュゼッペ・トルナトーレ等
- ・二科展作家：絵画部・彫刻部・デザイン部・写真部の会員

★二科展会期中展示場所：国立新美術館1階・2階・3階のコラボ展示室



広島と長崎に贈られた千羽鶴を原料に、起き上がりこぼしとして再生使用しています



▲高田 賢三

▲アラン・ドロン

▲外尾 悦郎

▲ジャン・レノ

▲ポール・ボキューズ